

連絡帳 油谷小学校

いつまでも忘れない
川尻小学校



は せ が わ あい
長谷川 愛 さん
油谷小学校 6年

私は、1・2年生の2年間、川尻小学校に通っていました。全校児童が36人で、私が1年生の時は、たったの4人でした。今は全校児童約200人の油谷小学校にスクールバスで通っています。

6年生は38人で、机が教室いっぱいになり、とても狭く感じながら学校生活を送っています。

私は、川尻小学校が閉校して3年生の時、油谷小に来て、教室に川尻小の全校児童とほぼ同じ人数の人がいるのでちょっと変な感じがしました。でも、今ではすっかり慣れ、友達もたくさんできました。油谷小のいい所もたくさんあるけれど、川尻小は川尻小でたくさんいい所がありました。例えば、

拍手をいっばいもらいながら歩いた漁港までの鼓笛パレード、私の一番好きな行事だった秋の川尻小祭り。ほかに、元気に歌った鯨歌。などなど川尻伝統の行事がたくさんありました。

こんな川尻小をいつまでも忘れず、この川尻の町をとって大切にしていきたいと思っています。

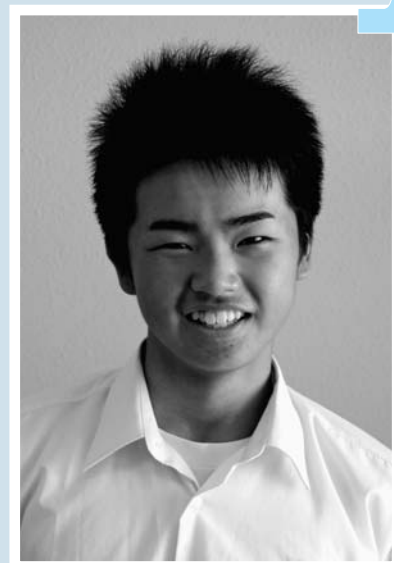
そして、最後の小学校生活の楽しい思い出もいっぱい作ろうと思っています。



通 中学校

連絡帳

最高の思い出



む ら た まさのり
村田 征 則 さん
通中学校 3年

待ちに待った修学旅行。ぼくたちの気持ちは、とても高ぶっていました。準備も万端で三日間の修学旅行に出発しました。

この仲間で行ける最後の旅行なので、思い出もたくさんつくりたいと思いました。

まず、自分たちの企画による京都散策です。正直、僕たちだけで行けるか不安でした。でも、仲間と協力しながら散策開始。中でも京都御所の広さに圧倒され、歴史の中に引き込まれるような感覚を味わいました。

二日目は、修学旅行のメインである、京野菜づくりの森田良彦さんとの出会い、学びでした。あいにく雨の中でしたが、ハウスの

中で、森田さんの野菜にかける思いや、大人になる僕たちへの教訓や生き方について熱心にお話しをして下さいました。

「野菜も人間も愛情を持って育てないといい味や個性は出ない」という言葉は、僕の心をとてあたたかくしてくれました。

よき仲間や先生方と過ごした二泊三日の京都学びの旅は最高の思い出になりました。



森田農園にて

ちよつと小耳に 和太鼓で まちおこしを



長門市和太鼓連盟

鼓波会／長門和太鼓オーケストラ「翔門」
 みすゞ音頭を育てる会「青波」／三隅清風太鼓

和太鼓で地域文化の発展を図ればと、市内で活動中の和太鼓グループ4団体が「長門市和太鼓連盟」を発足させました。

加盟したのは鼓波会、長門和太鼓オーケストラ「翔門」、みすゞ音頭を育てる会「青波」、三隅清風太鼓の4団体。平成17年に開催された「ながと和太鼓フェスティバル」での共演をきっかけに、相互のつながりを大切にしたと連盟設立の話が持ち上がったのだとか。

「どのチームもよき友でありよきライバル。お互いの交流を深めながらも切磋琢磨し合

い、成長していければ」と話す発起人の森野信夫さん。

「和太鼓フェスティバルを中心に、和太鼓体験講座やまつりなどより多くの方に和太鼓を楽しむ機会を提供していきたいですね」と今後の展望を語ってくださいました。

今年度は、10月7日(日)に3回目となる「ながと和太鼓フェスティバル2007」をルネッサながとで開催する予定。「長門の和太鼓は元気なんだ」ということを、みなさんの目で、耳で、そして心で感じて欲しいです」と意気込みたっぷり。今後の活動に期待が高まります。

熱血! 新鮮力

楽しい
イベントを



お お た に し ょ う
大 谷 将 さん
財団法人 長門市文化振興財団 勤務

※仕事は 4月からルネッサながとでイベントの企画運営業務を担当しています。自分たちの企画したイベントでお客様に喜んでいただけるとすごく嬉しいですね

※気をつけていること お客様の気持ちを考え、少しでも満足していただける接客ができるよう心がけています

※目標は 自分で企画を立ててみたいですね。若い人たちも楽しめるようなイベントができるといいですね

※趣味は バレーボールです。「長門SVT」というグループに所属してソフト

バレーを楽しんでいますよ。メンバー募集中です

※好きなタイプは 好きになった人が好きなタイプです。結婚は30歳までには…

※自由な一言 9月には人気の狂言公演を開催します。多くのみなさまのご来館をお待ちしています

